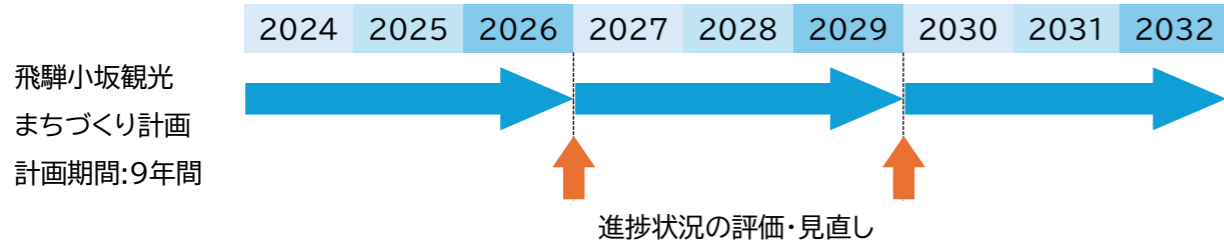


## 計画期間

観光まちづくりに関する長期計画として2024(令和6)年度から2032(令和14)年度までの9年間とします。  
観光を取り巻く状況は、国内で新型コロナウイルス感染症が2020年から流行したことをはじめ、ここ数年でも大きく変化しました。当然、今後も移りゆく社会情勢の変化に対応するため、概ね3年ごとに計画を見直します。



## 計画推進のための役割

- (1) 飛騨小坂観光協会の役割…推進主体として事業を積極的に展開します。
- (2) 観光関連事業者の役割…観光を契機にビジネスとして稼ぐ取り組みを進めます。
- (3) 地域住民の役割…魅力を再認識し、地域内外のモノやコトを積極的に交流します。

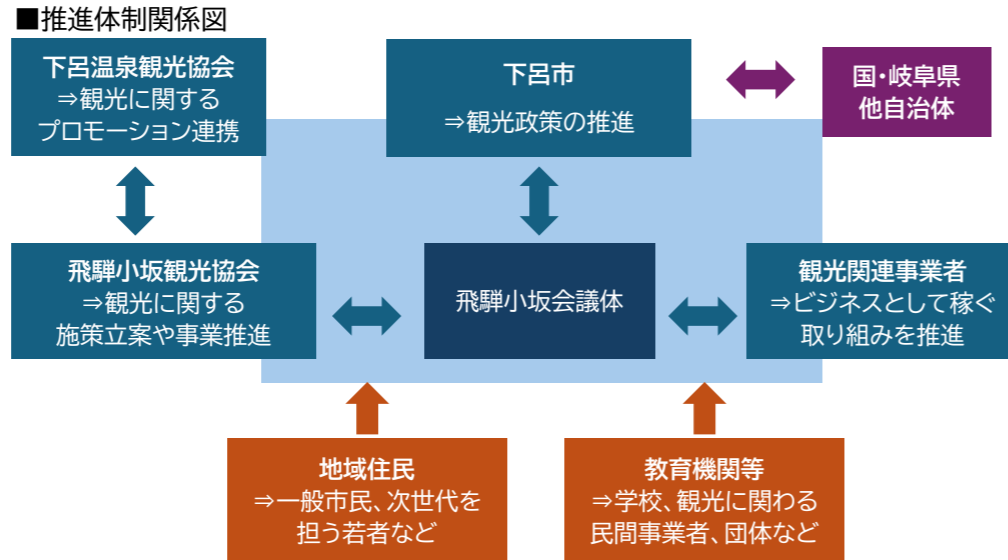


## 計画推進のための体制

下呂市、飛騨小坂観光協会に加え、小坂地域内の観光関連事業者や関係機関等と連携・協働しながら、本計画に示すアクションプランを推進していきます。

計画推進には、進捗状況・目標値の達成状況・課題などについて、飛騨小坂観光協会が牽引役となって各事業者間で情報共有する仕組みづくりとして「飛騨小坂会議体」を設置します。

進捗状況を定期的に点検し、必要に応じてアクションプランの見直しや追加を行います。



## 飛騨小坂観光まちづくり計画 【概要版】

2024年2月

発行 | 飛騨小坂観光協会  
編集 | 株式会社大清 観光広報事業部  
〒509-3104 岐阜県下呂市小坂町小坂町13番地1  
株式会社大清 くるまや18番内  
TEL:0576-62-2570 FAX:0576-62-2577



## 計画の概要

観光を軸に、現状の社会情勢やニーズの変化に応じた地域振興をより一層充実させることを目的として、中長期的な展望を示す「飛騨小坂観光まちづくり計画」を策定します。

### (1) 国・県の観光動向を踏まえた計画策定

近年の国や県による観光消費拡大に向けた各種旅行促進施策や国内外誘客促進により、観光需要はコロナ禍以前と比較し大幅に回復しました。

一方、著しい人口減少が続き、担い手不足をはじめ地域の観光を取り巻く状況は大きく変化しています。いわゆる観光事業者のみならず、多様な業種の関係者を巻き込み、持続可能な観光地経営を目指す必要があります。

### (2) 計画の位置付け

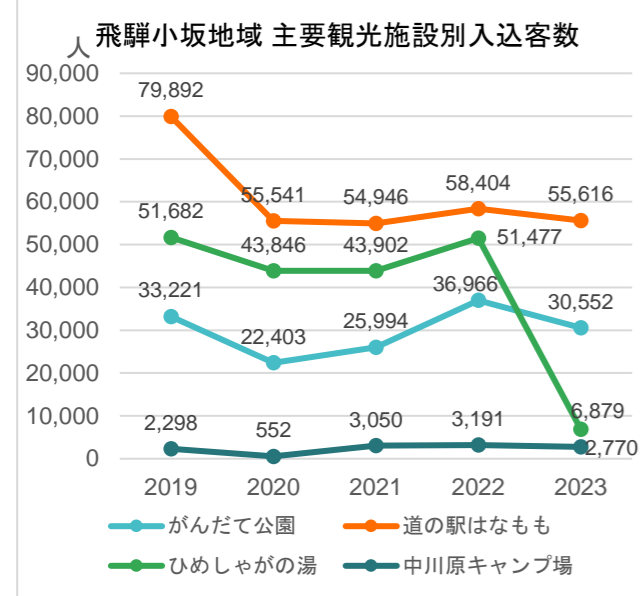
飛騨小坂地域の観光分野における施策および事業を示す指針として位置付けます。計画の推進にあたっては、下呂市総合計画との整合性を図ります。

また、国や岐阜県が示す観光関連の指針や持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も踏まえた計画とします。



## 飛騨小坂地域の観光動向

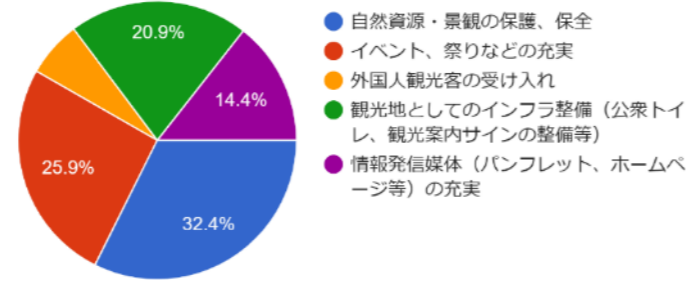
来訪者数は回復傾向にあるが、減少しています。



出所：飛騨小坂観光協会統計データ  
 落合区自治会中川原キャンプ場利用者データ

### ■住民アンケート ※一部抜粋

今後の小坂の観光振興施策について一番必要なことは



### ■観光関係事業者へのヒアリング ※一部抜粋

- メインが厳立峡しかない。今あるものをどう活かすかが大切。
- 飲食店が少なく、商店の閉まる時間も早い。他地域とは違う利点を魅せたい。
- どこにでもあるテーマパークのような観光地は不要。コアなファンがほしい。
- 子どもたちや若いガイドを地域一体となって育てる環境が必要。



## 数値目標

### ■宿泊客の1人あたり平均宿泊費

施設分類	現状値	目標値		
	2023年	2026年	2029年	2032年
旅館	¥17,069	¥17,500	¥18,000	¥20,000
民泊	¥4,083	¥4,500	¥5,000	¥5,500
キャンプ場	¥3,750	¥4,000	¥4,300	¥4,500

### ■観光施設入込客数

施設名称	現状値	目標値		
	2023年	2026年	2029年	2032年
がんだて公園	30,552人	45,000人	54,000人	100,000人
道の駅はなもも	55,616人	60,000人	65,000人	70,000人
ふれあいの森	1,549人	2,500人	3,000人	4,000人
ひめしゃがの湯	51,477人	50,000人	55,000	60,000

### ■外国人入込客数

施設名称	現状値	目標値		
	2023年	2026年	2029年	2032年
宿泊	152人	300人	700人	1,000人
体験プログラム	86人	550人	1,200人	3,300人

## SWOT 分析

	プラス要素	マイナス要素
内部環境	<b>Strength(強み)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本一滝の多いまち</li> <li>●御嶽山の恵みを受けた、他地域では真似できない本物の自然景観</li> <li>●高濃度天然炭酸泉は国内でも希少な存在で高価値化できる要素がある</li> <li>●磨けば宝物になれる魅力がある</li> </ul>	<b>Weakness(弱み)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報発信力に欠け、知名度も低く観光客数が少ない</li> <li>●人口減少が加速している</li> <li>●住環境や教育環境など子どもにとって魅力が少ない</li> <li>●二次交通手段が貧弱</li> </ul>
外部環境	<b>Opportunity(機会)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●JR 高山本線「飛騨小坂駅」という交通手段</li> <li>●「岐阜未来遺産」への認定</li> <li>●金沢⇄高山⇄白川村⇄下呂温泉⇄京都など広域観光周遊ルートの道中に位置する</li> </ul>	<b>Threat(脅威)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●飛騨高山など近隣他地域では新しい商売を始めるために適した風土がある</li> <li>●観光に費やす予算の差</li> <li>●観光事業者の高齢化と後継者不足</li> <li>●空き家の増加と商店の減少</li> </ul>

## 飛騨小坂の観光が目指す姿

### ■ペルソナ像

- 日本人「愛知県一宮市在住の子ども連れ4人家族」
- イギリス人「ロンドン在住のサイクリング・温泉好きカップル」
- 台湾人「台北市在住の絶景めぐり好き中年夫婦」



### ■基本理念

## ありのままの御嶽に出会い、日常の休み時間を飛騨小坂で

観光客の需要は、決められたルートを集団で回る旅行形態から、個人のこだわりに沿ったテーマを重視して自由に周遊・滞在し、個々の感性を満足させる思考へ進んでいます。

また、飛騨小坂でしか味わえない本物の自然環境の価値を肌で体験し、感動に繋げることが、地域本来の魅力と来訪者の満足度を高めるポイントです。

さらに、人口減少が進む地域にとって、「自然」「文化」「人」を観光資源に結びつける上で重要な考えが持続可能な観光地域づくり「サステナブル・ツーリズム」の観点です。

### ■基本方針

- 方針-1 来訪者調査及びブランディング・プロモーション戦略の検討
- 方針-2 観光消費額増に向けた滞在型コンテンツ等の造成
- 方針-3 受け入れ体制整備とおもてなしの実践
- 方針-4 戦略の効果的な推進
- 方針-5 安全・安心な観光地域づくり

